

国際テロリズムの現況と国際関係

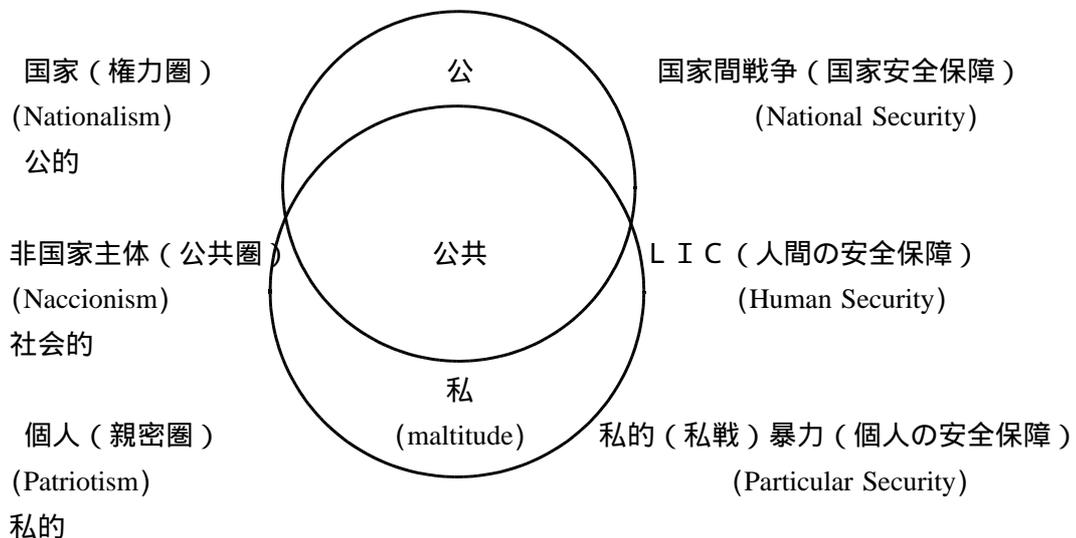
桜美林大学 加藤朗

はじめに - テロの歴史 -

- 近代テロ (1789 ~ 1967)・・・暗殺
- フランス [市民] 革命・・・ロベスピエールによる恐怖 (テロ) 政治 (1793 ~ 4年)
- 現代テロ (1968 ~ 2000)・・・航空機 / テレビ
- (1979 イラン・イスラム [市民] 革命 ~
- 脱現代テロ (2001 ~)・・・インターネット

1. 越境する国際テロリズムの現況

- (1) 国境を越える越境 (trans-border)
 - 航空機の発達・・・ジャンボ機の登場 (ハイジャック闘争)
 - 国境管理の破綻・・・破綻国家 (レバノン)
- (2) 物理空間から心理空間への越境 (trans-space)
 - テレビ / 宇宙中継・・・1971 4機同時ハイジャック / 1972 ミュンヘン・オランダ村襲撃事件
 - ビデオ・・・80年代自爆テロの決意表明
- (3) グローバル権力圏とグローバル親密圏への越境 (trans-sphere)
 - ネットによる電脳空間の仮想現実の登場
 - 冷戦後のグローバル社会と公共圏の登場



2. 国際テロリズムをめぐる国際関係

- (1) 国境管理の強化
 - 現況・・・生体情報を含めたパスポートの IC 化
 - 問題点・・・一国による情報独占の危険性
- (2) メディアの管理 (一部の国による協調)

現況

- ・通信傍受（エシユロン）・・・英・米（UKUSA）同盟＋（カナダ、ニュージーランド）
- ・ネット監視・・・中国

問題点

- ・一部の国による情報の独占（情報の世界にはギブ・アンド・テイクしかない）
- ・民主主義の否定につながりかねない（テロリストの思うつぼ）

（３）テロの犯罪化、戦争化

）犯罪としてのテロ

- ・対策・・・犯人引き渡し、訴追の国際、国内法の強化／国際刑事裁判所
- ・問題点・・・テロの定義／法体系／司法執行機関

戦争としてのテロ

- ・現況・・・個別的／集団的自衛権による対テロ戦争
- ・問題点・・・法的問題／実効性の問題

おわりに 多主体間協調によるテロ対策

- ・非武装NGOによる民生支援
- ・武装NGOとしてのPMCによる治安維持

（参考文献）

拙著『現代戦争論』中公新書、1993年

拙著『テロ』中公新書、2002年